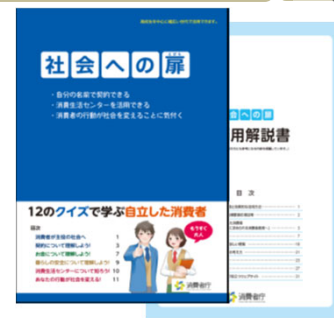


○ 高校生向け消費者教育教材「社会への扉」

消費者庁 社会への扉

検索



社会への扉

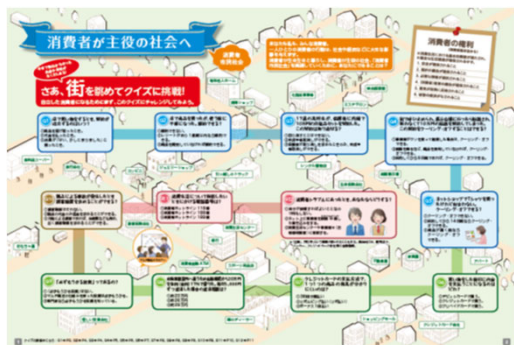
— 12のクイズで学ぶ自立した消費者 —

【目的】 成年年齢の引下げが議論されていることも踏まえ、**高等学校段階までに、契約に関する基本的な考え方**や**契約に伴う責任**を理解するとともに、身近な契約等を通じて、社会において消費者として主体的に判断し責任を持って行動できるような能力を育む。

生徒用教材

P.1~2
導入

消費者が主役の社会へ



消費生活に関する12のクイズを掲載

契約や消費者トラブル等が身近な暮らしの中に存在することに気付かせる。

P. 3~11

契約について理解しよう！

キャッチセールスのイメージ



グループ学習にも活用できるワークを掲載

ワーク3 なぜ、法律では上のような取引に関してクーリング・オフ制度を定めているのだろうか。



高校生にも身近なインターネットショッピングの注意事項を具体的に掲載

お金について理解しよう！

・クレジットカードの仕組み、多重債務、将来の詐欺的投資被害を防ぐための注意を掲載

暮らしの安全について理解しよう！

・暮らしに潜む危険の例を紹介し、安全に配慮した行動、再発防止のための行動がとれる消費者になることを促進

消費生活センターについて知ろう！

・「高校生が消費生活センターに相談したら」という設定のマンガで紹介

あなたの行動が社会を変える！

・消費者トラブルにあった際に行動することが、消費者市民社会の実現につながることを紹介

教師用解説書

生徒用教材に関わる学習指導要領の項目等を示す表

学年	大項目	中項目	事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	(1) 我が国の生活者社会	消費者の権利	消費者の権利	○											
		消費者の責任	消費者の責任												
2	(2) 現代社会と人間としての責任	契約	契約												
		消費者トラブル	消費者トラブル												
3	(3) 消費者生活と社会	消費者生活	消費者生活												
		消費者生活と社会	消費者生活と社会												

消費者教育の必要性についてのメッセージ

・消費者教育を実践している
教師・弁護士・消費生活相談員

育てよう！自立した消費者
～今、高等学校に求められる消費者教育～

- 生徒用教材各ページの解説
- 教師として知っておきたい若年者を取り巻く消費生活に関する情報
- 生徒用教材の「ワーク」「発展」、「プラスα問題」の考え方

公民科、家庭科の指導案例とワークシート例(ワークシート実物大はウェブサイト掲載)

導入	学習内容	指導上の留意事項
消費者トラブルと契約について	消費者トラブルと契約について	ワークシートを配付し、ワークシートに設けた問いに答えることで、消費者トラブルの発生原因や、消費者トラブルの発生を防ぐための注意点を理解させる。
消費者トラブルの発生について	消費者トラブルの発生について	ワークシートに設けた2つの問いから、消費者トラブルの発生原因や、消費者トラブルの発生を防ぐための注意点を理解させる。また、消費者トラブルの発生を防ぐための注意点を理解させる。
消費者トラブルに悩む消費者について	消費者トラブルに悩む消費者について	消費者トラブルに悩む消費者の事例を提示し、消費者トラブルの発生原因や、消費者トラブルの発生を防ぐための注意点を理解させる。
消費生活センターの役割について	消費生活センターの役割について	消費生活センターの役割や、消費生活センターを利用するための注意点を理解させる。